

成城大学 2025 年度 学部別選抜 (A 方式)

2 月 4 日：英語

■解答例

〈注意事項〉

ここに掲載するのは解答の一例であり、その他に別解がある場合があります。

[I]

(1) ウ (2) オ (3) イ (4) ア (5) エ (6) ア (7) エ (8) ウ (9) オ (10) ア

[II]

(1) ウ (2) オ (3) オ (4) イ (5) エ (6) ア (7) イ (8) オ (9) エ (10) イ

[III]

A

(1) ア (2) ウ (3) オ (4) エ (5) ア (6) イ (7) オ (8) ウ (9) エ (10) イ

B

(1) ウ (2) オ (3) オ (4) ア (5) エ

C

(1) 2 番目ウ 5 番目ア

(2) 2 番目カ 5 番目エ

(3) 2 番目オ 5 番目ア

(4) 2 番目ア 5 番目イ

(5) 2 番目ウ 5 番目イ

[IV]

(1) you agree with me

(2) whether (if) you can (could) help me with this

(3) would be nice if you bought them

(4) I'd like to have

(5) That's a problem

■出題意図

[I] ものを所有すること、購入することに関してとるべき姿勢についての先人の言葉を最初に引用し、その後、著者が議論を展開していく文章である。テーマに関して、著者がどのような理由に基づいてどのような主張を行い、引用した様々な人物のコメントを紹介しながらどのように議論を展開していくかを、きちんと把握できるかを問うている。設問では以下の内容を問うことを意図している。

- ・各段落で述べられている内容をきちんと把握し、文章の中でどのように議論が展開するかを把握できているか。
- ・英文の中で用いられている構文が議論の中でどのような役割を担っているかを理解しているか。
- ・用いられている語彙や表現に関して、キーワードを把握するとともに、重要な語彙表現を理解できているか、また、知らない語彙についても文脈の中でその意味内容を推測し理解しているか。

[II] 様々な分野、トピックの英文に関して、その議論の流れを理解し把握できているかを確認することを意図している。

一段落程度の英文の中で、英文がどのように構成され、議論がどのように展開されているかを把握し、議論の流れに沿う選択肢を選ぶことが求められている。

[III]

[A] 短い英文の内容を把握し、その内容に沿って文意が伝わるように空所に入れる適切な語彙表現を選ぶことができるか、また文法的に正しい文を完成できるかを問い、英文理解力、語彙力、文法の知識を確認することを意図している。

[B] 初見の語彙や多義的な語彙について、英文の中で用いられている意味内容を把握し、その内容に近い語彙表現を選ぶことができるかを確認することを意図している語彙に関する問題である。

[C] 英文の内容を理解する力、語彙力、構文に関する知識、英文を構成する力を問うことを意図している並べ替え問題である。

[IV] 英文で与えられる状況とその中で交わされる会話を理解し、その場面で適切なコミュニケーションを行うために、相手の意向を尋ねたり依頼をするといった言語の機能を適切に用いて英語表現を産出する力を問うことを意図している。

成城大学 2025 年度 学部別選抜 (A 方式)

2 月 5 日：英語

■解答例

〈注意事項〉

ここに掲載するのは解答の一例であり、その他に別解がある場合があります。

[I]

(1) ウ

(2) ChatGPT が出す解答は、往々にして正確であるとは言えない。

(3) イ (4) エ (5) ウ

(6) 教師に隠れて ChatGPT を使う生徒を見つけ出す罠を仕掛けること。

(7) イ (8) ア (9) ア (10) ウ

[II]

(1) 精神的にも気持ちの上でも、いわば「他人の靴」を履いてみるように、相手に共感することを指す。

(2a) Empathy (2b) Sympathy

[III]

A

(1) イ (2) ア (3) エ (4) イ (5) ア (6) ア (7) イ (8) イ (9) エ (10) ウ

B

(1) ウ (2) イ (3) ア (4) イ (5) ア

[IV]

(1) How was it

(2) Have you seen it

(3) We should watch it together sometime

■出題意図

[I] 大学が学生に求める現代的な問題意識の1つとして、今日的な話題である生成 AI（英文では ChatGPT）と教育に関する英文を素材にした。受験生が生成 AI を盲目的に使うのではなく、その長所と短所を理解した上で、自らの目的に有効活用できる学生になれることを願って採用した。英文はやや長いとはいえ、語彙や統語構造は標準的。難易度が高い単語には注を付けた。

各設問は下線が付された箇所だけではなく、前後関係から正解を選ばなければならないように作問されている。

(2) と (6) は記述問題とし、受験生が自らの言葉で説明する力を試した。

[II] 最近話題になることが多い empathy と sympathy という、他人にたいする感情を示す言葉の微妙なニュアンスの違いをめぐる英文を素材に作問した。

(1) はこの英文の文脈における比喩表現の意味合いの理解をめぐる設問。字義的な解釈ではなく、前後の文脈を理解することを求めている。(2) は英文の大意を理解していれば、比較的容易に空所を補充できる設問。

[III] A は、文法、語法など基本的な英語の言語知識を問う設問となっている。設問はどれも平易なもので、高校までの学習内容を習得していれば確実に正答できるものを狙って作問した。

B は、比較的短い英文に関して、文脈から脱文を選べるかどうかを問う設問。英文の流れを適切に理解していれば、正しい選択肢を選ぶことは困難ではないが、5つの英文のある程度のスピードで読解する力が要求される。

[IV] 本設問は、いわゆる英作文問題ではなく、条件英作文問題。2名による与えられた会話文のなかで、場面に応じて英語で受け答えができる能力を有しているかを問う設問になっている。特に、相手の発言に対して最適な応答を産出できる能力を求めている。自分の限られた語彙を用いて、英語で自然で円滑なインタラクションができる基本的な英語コミュニケーション能力が試される。

成城大学 2025 年度 学部別選抜 (A 方式)

2 月 6 日 : 英語

■解答例

〈注意事項〉

ここに掲載するのは解答の一例であり、その他に別解がある場合があります。

[I]

(1) ア (2) イ (3) エ (4) ア (5) エ (6) エ (7) ウ (8) エ (9) エ (10) イ

[II]

(1) 1 目 : 受け取ったカードの枚数と同じ数の人に好かれていること。

2 目 : 1 人で何枚もカードを送るほど情熱的に好かれていること。

(順不同)

(2) バレンタイン・デイが極めて商業的になっていること。

[III]

A

(1) ア (2) イ (3) エ (4) イ (5) ウ (6) ア (7) ウ (8) ウ (9) ア (10) ウ

B

(1) エ (2) エ (3) ア (4) ウ (5) ウ

[IV]

(1) Saturday will be the best.

(2) Would you like to spend New year with my family?

(3) I listen to my favourite music.

■出題意図

[I] 出題文は、富の集中についての英語記事である。「英文を読み、新しい情報や知識を得る」という、大学での学習で必要とされるスキルが備わっているかを問う。よって、出題文には、一部、多くの受験生にはなじみがないと思われる内容も含まれているが、難解な語句を知らなくとも、論を理解する妨げにならないよう、適宜注をつけた。設問の構成は、文法知識や語彙力をいかして細部を正確に読みとる力、並びに、筆者の問題意識をとらえ、文章の展開を追い、論旨をつかむ力を確認することを意図したものである。

[II] 出題文は、バレンタイン・デイの風習についての読み物である。比較的読みやすい内容の長文を素早く読んで全体の内容を把握しつつ、設問の解答に直接関係する箇所を正確に読み取る力を問う。設問は、語彙力、文法知識や文の構造の理解を確かめ、同時に、問われた内容を日本語で適切に説明できるか確認することを意図している。

[III]

A

短文の空所補充問題。いずれも、実用的な英文を用い、基本的な文法や語句の用法の知識を問う問題である。

B

まとまった内容の英文を読み、空所に適切な英語を補充する問題。文章の論理的展開を追うことができるかが、正答を導く鍵になる。(4)(5)は、冒頭の一文が空所となっている。文章全体に目を通し、主旨を理解できたか確認する問題である。

[IV] 状況説明を読み、適当な会話文(応答や問いかけ)を書く英作文問題。まず、状況を説明する英語を正確に理解する必要がある。会話文を書かせることにより、英語コミュニケーション力を問うのと同時に、文法、語句の基礎力が着実に身についているかも確認する意図がある。いずれも基本的な英語で解答可能。

成城大学 2025 年度 学部別選抜 (A 方式)

2 月 7 日：英語

■解答例

〈注意事項〉

ここに掲載するのは解答の一例であり、その他に別解がある場合があります。

[I]

- (1) イ・カ (2) イ (3) エ
- (4) ブリキには塗料 (ペンキ) がきちんとつかない (うまく定着しない) から。
- (5) 楽器を作る仕事。
- (6) ア (7) ウ (8) エ (9) ウ (10) ア

[II]

- (1) 死を拒絶でき、重力を逃れられる人間。
- (2) 科学や技術の基礎 (的知識) がないのにテクノロジー (技術) に注目した点。

[III]

A

- (1) エ (2) ウ (3) ア (4) ウ (5) エ (6) エ (7) ウ (8) エ (9) イ (10) ウ

B

- (1) ア (2) ウ (3) エ (4) イ (5) イ

[IV]

- (1) (because) I am ill.
- (2) I'm going to Shikoku with my family.
- (3) What does he like?

■出題意図

- [I] 長文読解問題。アメリカ人の著者が欧米における鉄道模型の歴史について書いた文章を問題文としている。1000語をやや超える長めの文章だが、英文としては比較的平易であり、内容と論旨を正確に理解できているかを問うている。長文全体の展開（鉄道そのものの歴史を概観したうえで、鉄道模型の歴史にシフトする）および細部の議論（英独仏そして米の鉄道模型それぞれの比較など）の両者を、単語・文法の正確な知識と構文・文脈の適切な理解に基づいて、ともに正しく把握できているか否かの確認を意図している。
- [II] 長文読解問題。ボリス・グロイス編の論集が出版されるなど、今日の現実政治との関連で再注目される19世紀の思想「ロシア宇宙主義」についての文章を、問題文とした。比較的短い文章だが、思想の説明として常識を逸脱する内容を含む（死者を復活させる、不老不死になる、など）と同時に、そのような思想を今日の視点で冷静かつ客観的に評価する（実際には主張者たちの科学的素養は乏しかった）文章となっており、設問はこの重要な2点を象徴する箇所について、それぞれ日本語で答えるものとしている。語彙と文法の基本的な知識に基づいて全体の構造と趣旨を把握できる英文読解力を、確認することを意図している。
- [III] A・Bに分かれており、どちらも空所補充問題である。
Aはワン・センテンスの英文中の一語ないし数語分の空所を、与えられた日本語文の内容とおおむね一致するように選択肢の語句から補充する問題で、基礎的な文法知識を問うている。Bは10行程度の英文中の一定の長さをもつ空所を、選択肢に示された一定の長さをもつ語句から適切に補充する問題で、空所前後の記述から展開や論理を読み取る文脈読解力を問うている。高校までに習得する基本的な文法理解と、英文の論理展開を概観し把握する読解能力とを、総合的に確認することが出題の意図である。
- [IV] 会話ないしメール文の空所補充問題である。問題文が指定する文脈を想像したうえで、場に応じた適切な応答や説明となる英文を、語数制限内で作文することが求められている。設問はいずれも基本的な語彙のみで解答が可能であり、また解答の自由度もかなり高いと思われるが、スペリングの正しさや動詞の活用、単数・複数の違いや冠詞の有無などもまた、自然に見える英文の重要な要素である。コミュニケーションとしての適切さと文章としての正確さとを、ともに確認することを目的としている。